

紙藍会便り

2018年 第32号
組合員社数：27社
発行月：2018年7月

目次

- 1. 巻頭雑句
- 2. 紙藍会第10回通常総会
- 3. リサイクル出前授業講習
- 4. アンケートデータ

巻頭雑句 ～ 知らんかい

そんな強豪国の中、日本チームは直前での監督の更迭・交代や練習試合の不調、予選グループリーグ組み合わせ等、予選突破はかなり厳しいとの下馬評であったが、予選初戦強豪コロンビアに勝利、勢いに乗っているセネガルにも引き分け、自力予選突破をかけたポーランド戦では敗北したもののフェアプレーポイント差でグループリーグ突破をはたした。

試合内容も、チームの連携で攻めるサッカーで得点をあげる試合となり、得点力不足でもややもやとする、思っていた日本のサッカーとは嘘のような熱い試合内容であった。（ポーランド戦は賛否両論となっているが・・・）

第25回

ワールドカップ

4年に一度開催されるサッカーワールドカップ。普段はほとんど見ないサッカーにこの時期はくぎ付けとなり、やれメッシだ、ロナウドだとにわかにかのサッカーファンとなる。

そして、いよいよとなったワールドカップ初戦のベルギー戦、相手は優勝候補といわれており得点力の塊のような超強豪チームである。誰もが勝ちには残念ながらないだろうと思われた試合で、後半すぐに日本は二点を先制しまさかのベスト8進出、ブラジル戦か？と、観戦しながら半ば勝利を確信していた。その後も攻めのサッカーを続け、連携を繋げつつ追加点を狙っていく日本だったが、身長、個人技で勝るベルギー猛攻により立て続けに2点の失点、更に終了間際のカウンターによるまさかの逆転負けという劇的な試合展開となった。

ただ呆然と、そして喪失感すら感じてしまったが、それだけ夢中になった証拠でもあり、強豪相手にチームプレーを活かし一歩も譲らない戦いを続け、最後までわくわくさせてくれた日本チームにMWT（もっともわくわくしたチーム）をおくりたい。

次回の開催は4年後カタルでとの事らしい。更なるわくわくを期待して、にわかにかのサッカーファンを続けていきたい。

寺松 雄次



ワールドカップ期間中限定のゲーグルロゴ日本バージョン

2018年5月7日、組合事務所において第10回紙藍会通常総会がおこなわれた。
 今期は、役員改選がおこなわれ次のように変更となった。

会長 寺松 雄次(株)寺松商店
 副会長 大津 正樹(紙資源株)
 西原 哲(株)西原商店
 会計 香田 健一(株)イワフチ
 監査 松田 卓也(JP資源株)



総会時様子

2018年6月12日、組合事務所においてリサイクル出前授業講習がおこなわれた。古紙再生促進センターより濱野氏・森田氏、中部製紙原料商工組合より井戸氏(株)宮崎が来所され、前半は井戸氏がメイン講師を務め、小学4年生を対象とした出前授業をおこない、後半は濱野氏より講習教材の説明等がおこなわれ、またハガキ作成キットによる実演もおこなわれた。井戸氏の授業を受け、大変わかりやすく説明をおこなうとともに、興味を持ってもらう為の話し方や気配り等大変勉強となった。最後に、九州地区においてもリサイクル出前授業の普及をおこなって欲しいとの要望を受け出前授業終了となった。



リサイクル出前授業様子

3月・4月・5月 ハラ物数量対前月・前年推移データ(平均値記載)

(単位%)	段ボール			新聞			雑誌		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月	3月	4月	5月
対前月	114.90	95.7	100.88	109.6	93.33	96.00	124.50	95.9	83.81
対前年	99.80	99.80	101.29	101.30	95	93.08	97.10	95.4	91.93

詳細なアンケートデータは紙藍会定例会時に配布しています。